

令和3年7月20日

保護者様

三木市立吉川小学校  
校長 長谷川 珠里

## 吉川小学校開校を迎えて（15）

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力を頂き深く感謝いたします。

さて、本校が開校して3カ月余りが過ぎましたが、保護者や地域の皆様のおかげで、落ち着いた学校生活を過ごす事ができています。

開校後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から7/2付まで計14回）に引き続き、これからも少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じて、ご確認ください。

### Ⅰ 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

#### （1）オンラインを活用した学習

7月16日（金）に6年生が堺市の小学校とオンラインで交流学习を行いました。



オンラインを活用すれば、遠隔地の人々との交流学习も可能です。児童自らが経験していく事が新たな取組やより良い活用につながっていくと思います。

なお、本校の6年生担任宮脇教諭は「HYOGOスクールエバンジェリスト」に任命され、実践的研究の中心となって取組を進めています。本年度の活動内容については、三木市内の全学校を対象とした研修会で講師として発表したり、兵庫県教育委員会の実践記録で紹介したりする等の発信を行っていきます。

ついては、授業中の様子（可能な限り個人が特定されないように撮影した写真等）や学習の内容（感想文等）の掲載許諾を対象の児童の保護者あてに依頼しています。お手数で

すが、内容を確認いただき承諾の有無をお返しく下さい。1学期末の対応となり、お返しいただくまでの期間が短くなっていますがご協力をお願いします。

神戸新聞 2020年07月08日 水曜日 面名 朝四社 13 24ページ

## 学校ICT化へ教員任命

### ひょうごエバンジェリスト

#### 県教委、オンライン授業推進

**新型コロナウイルス関連**

学校現場のICT(情報通信技術)化を進めようと、兵庫県教育委員会は、希望する教員約50人を対象に、県立高校と市町立の小中学校でオンライン授業などを進める「HYOGO(ひょうご)スクールエバンジェリスト」として任命する。約1年半研修を受け、ICTを活用した授業の在り方などを学び、近隣校にもノウハウを広げていく。

新型コロナウイルスの感染拡大で学校は長期間の休校が続く、遠隔でできるオンライン教育の必要性が加速。感染症「第2波」の懸念もあり、県教委は教員の指導力向上を目指す。

エバンジェリストは「伝道師」の意味。小中学校が20人程度、高校が30人程度で、県教委は10日まで希望者を募っている。

**カメラ機能を活用して、自分を客観視！**

自分がハードルを跳んでいる様子を、鏡的に利用して見ることができます。また、スローやコマ送り再生をすることで改善点やポイントを見つけたり、友達と話し合ったりするなど、対話的な学びを行うこともできます。加えて、自分の成長を振り返る資料にもなります。

＜第6学年 ハードル走＞

**ICT活用のポイント**

普段の学習でカメラの機能を活用しておく、操作技能の獲得に向けた指導をする必要がなくなります。児童も教師も、普段の活用の延長で気軽に実践ができます。



研修は2022年3月末まで。ICT企業の実務経験と連携した研修プログラムを受けるとして通信技術を高めるほか、県立教育研究所(加東市)で授業における効果的な使い方を学び、研修後にエバンジェリストに任命される。

県立高校では現在、9割以上の学校で学習支援アプリを導入しており、学校再開後も家庭学習として大半が活用している。これと並行し、生徒の顔を見ながら双方向でやりとりできるよう、県教委は家庭と学校を結ぶ通信回線の強化などハード面の整備も進めている。(斎藤絵美)

実践発表資料の一部です。主に6年生の学習内容をまとめていますが、他学年の取組も含めています。

(2) ひまわり学級・にこにこ学級と1年生の交流学習

7月16日(金)にひまわり学級とにこにこ学級が企画して、1年生と交流学習を行いました。その時の様子です。学年の枠を超えて、たて割り班活動や異学年交流等を進めていきます。



## 2 吉川小学校の歌づくり

登校してから朝の会が始まるまでの時間や業間、昼休みには、第2図書室（コモンホール）に置いているピアノを奏でる子ども達があります。そして、その音色を楽しそうに聞いている子ども達もいて皆が集える場となっています。

子ども達が楽しそうに集って、流行りの曲や校歌等を弾いている様子を見ていて、新しく開校した「吉川小学校の歌」を子ども達と共につくる計画をしています。

歌詞に入れたい言葉を下記のように公募したところ、次のような言葉が集まりました。


開校記念  
よかわしょうがっこう うた ぼしゅう  
吉川小学校の歌を募集しています

年 ( )

吉川小学校が開校して3か月が過ぎました。校歌はお昼の放送でもよく聞いていますね。もう覚えてますか。

これから 校歌とは別の「吉川小学校の歌」をみんなで創ろうと思えます。歌詞にいれたい ことばを ます募集します。「吉川小学校の歌」に入れたいことばを書いてください。

例：にこにこ元気に みんなでつくろう わいわい楽しく



大好きな吉川小学校

笑顔 きらきら みんなで楽しく吉川っ子

楽しい ハッピーハッピー

みんな集まっておいでよ いっしょに遊ぼう

笑顔の種をひらけ吉川小学校

みんな元気いっぱい 楽しい 助け合い

みんなの学校

にこにこ楽しい吉川小

みんなが元気で明るい

みんな仲良し（く）にこにこ笑顔 きらめく

みんな楽しく きらきら笑顔 ぴかぴか

吉川っ子

HAPPY

明るい 希望 笑顔 協力 等

上記の言葉を使って「吉川小学校の歌」を作り、メロディを募集しています。

吉川小学校の皆さんに募集をしていた言葉を参考に、歌詞を作ってみました。メロディは現在募集中です。楽譜でなくても大丈夫です。歌ってみてくださいとしています。

作詞：吉川小学校児童

作曲：吉川小学校児童

1番 みんな 集まっておいでよ いっしょに遊ぼう  
みんな 集まっておいでよ いっしょに学ぼう

笑顔 きらきら みんなで楽しく 吉川っ子  
元気 いっぱい みんなの学校 吉川っ子

助け合い 笑顔の種を ひらけ 吉川小学校

※ 2番・3番は、2学期・3学期に作る予定です。

3 『フォートナイト』等のオンラインゲームで子どもに起きている5つのトラブルと保護者がすべき対策について(高橋暁子 成蹊大学客員教授/ITジャーナリスト引用)

※「吉川小学校開校を迎えて(14)」の続きです。

知らない人とはプレイしないことが大切

友だちとつながってボイスチャットしながらチームプレイをするため、「長時間プレイなどの依存問題」にもつながりやすい。やめられなくなった小学生に理由を聞いてみたところ、「1位を取りたい。やられて悔しいからもう一度戦いたくなる」「友だちがいるから、途中でやめたり抜けたりしづらい」などと言っていた。

プレイ時間が長くなりがちなときは、ボイスチャットでプレイしているときに、相手に聞こえるように保護者が「ご飯よ」「寝る時間よ」などと声をかけると効果があるようだ。「相手の子ども親の声を聞いて『やばい』と思うみたいだし、何より自分の子どもが嫌がってすぐに切るようになった。『親が聞いている』と思うと、暴言なども減る気がする」とある保護者はいう。

「知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系被害」は、重大な被害が起きていることを保護者が知っておくべきだ。オンラインゲームで子どもが知らない人とプレイして親しくなり、呼び出されて誘拐されたり、性被害に遭う事件も起きている。子どもは、たとえ相手が知らない大人でも、一緒にゲームをしてボイスチャットで話すことで親しみがわき、友だちという感覚に陥ってしまうのだ。

ゲームではゲーム名でプレイすることが多いものだが、ボイスチャットで本名を呼ばれてしまい身元バレした子がいるという。対策だが、「個人情報を言わない」約束だけでは、実は十分ではない。言わない約束をしていたのに、ボイスチャットをしているうちに話してしまった小学生がいる。会話できるのだから、甘い言葉で子どもから情報を引き出すことは簡単だと考えた方がいい。

次回に続きます。

4 夏季休業中のTeamsを利用したオンライン学活について

「吉川小学校開校を迎えて(14)」でもお知らせしましたように、タブレットを活用したオンライン学活を下記のように計画しています。

(1) 日時 **1回目 8月3日(火)**

10:00~10:30 1年生(ひまわり学級・にこにこ学級)、2年生

10:30~11:00 3年生(ひまわり学級)、4年生、6年生(にこにこ学級)

11:00~11:30 5年生(ひまわり学級)

**2回目 8月25日(水)**

時間は上記と同じ

(2) 家族旅行やアフタースクール等についてはそちらを優先させてください。別途コメントを入力するなどの返信をお願いします。